

## 第55期 中間報告書

平成18年4月1日～平成18年9月30日



***Solution  
Provider***

## ごあいさつ



取締役社長  
古尾谷 健

### 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当社の事業経営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今上半期、わが国経済は、長期にわたるデフレ経済を克服し、戦後最長の景気回復の過程をたどってまいりました。当社の主力事業分野であります自動車業界は、上半期の国内生産台数が前年同期を上回る550万台に達するなど、好調に推移いたしました。このような状況下、当社グループは総力を挙げて業績の拡大と経営基盤強化に取り組んでまいりました結果、期初の計画をほぼ達成することができました。

引き続き業績を安定的に拡大させていくため、当社では全社員一丸となって、地球環境の改善に貢献することを目的とした「開発提案型営業」を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

2006年12月

## Contents

ごあいさつ	1
連結財務ハイライト	2
トップインタビュー	3
事業の特徴	5
連結財務諸表の要旨	7
単体財務諸表の要旨	8
株式の状況	9
会社概要	10

### 経営ビジョン

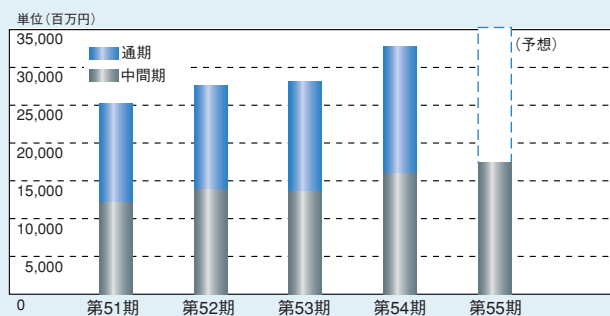
グループの存続と繁栄を目指し、生産財要素部品等を対象とする環境を重視した「開発提案型企業」として、世界のお客様に信頼されるオーハシテクニカを実現する。

# 連結財務ハイライト

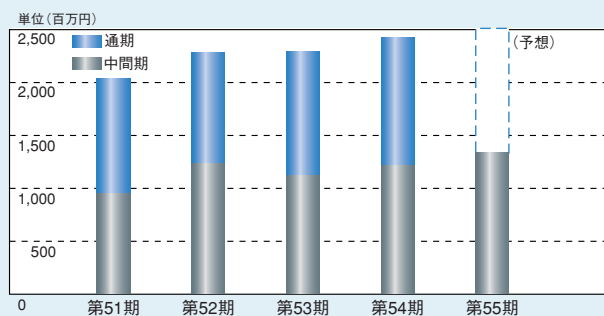
	第51期中間期 平成14年9月期	第52期中間期 平成15年9月期	第53期中間期 平成16年9月期	第54期中間期 平成17年9月期	第55期中間期 平成18年9月期
連結売上高 (百万円)	12,003	13,664	13,480	15,601	17,139
連結経常利益 (百万円)	943	1,220	1,107	1,199	1,300
連結中間純利益 (百万円)	441	673	627	755	772
純資産 (百万円)	9,620	10,683	12,342	13,635	15,166
1株当たり中間純利益 (円)	49.97	76.16	68.02	80.76	41.08
1株当たり純資産 (円)	1,088.47	1,207.62	1,322.54	1,453.95	804.67

※54期末に1：2の株式分割を実施しました。

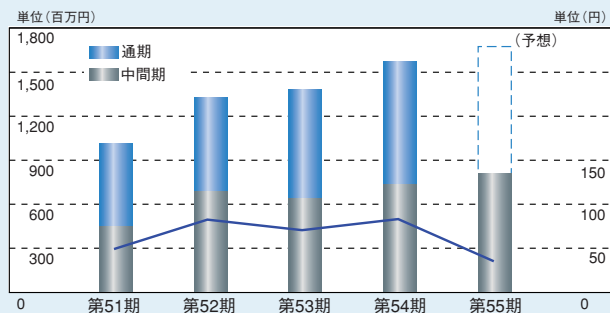
## ■ 連結売上高



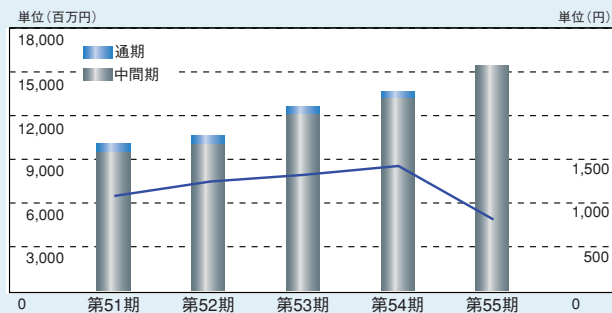
## ■ 連結経常利益



## ■ 連結中間(当期)純利益・1株当たり中間(当期)純利益



## ■ 純資産・1株当たり純資産



※54期末に1：2の株式分割を実施しました。

## トップインタビュー

# 古尾谷社長

に聞く

Q  
&  
A

### Q1.今期の業績見通しは

上半期の業績は、ほぼ計画通り推移しました。自動車部品事業では前年度から引き続いて国内の新規受注品が好調であったこと、海外での日系自動車メーカーの生産の増加、さらに情報通信部品事業では、海外大手携帯電話メーカー向け売上が軌道に乗ってきたことなどがあります。

下期もいくつかの懸念材料が言われていますが、当初、公表させていただいた目標達成に向けて、グループを挙げて取り組んでいるところです。

### Q2.社長がよく言われる「強みの創造」ということについて

現在、最も力を入れている「固相溶接技術（圧入プロジェクト）」ですが、上期の売上は2億円程度で、必ずしも期待通りではありませんでしたが、2年後には30億円以上に持っていきたいと思っています。

こうした地球環境に優しい技術が広がり、その結果としての業績への寄与が一段と高まるよう、全力で商品化を進めていきます。



### Q3.情報通信事業の見通しは

国内需要は依然として停滞が続いていますが、世界の携帯電話機市場は、中国を中心として、引き続き高い成長を続けています。当社も、こうした変化を予測して海外の大手メーカーに積極的な営業活動を続けてきました。この上半期、ようやくその成果が実を結んできており、下半期以降、一段の売上拡大が期待できる見込みです。

### Q4.先日、発表された国内でのM&Aについて、少しお話しいただけますか

現在、事業の譲受についての基本合意書を交わした段階ですので、基本的な考え方についてだけお話しをしたいと思います。

当社はこれまで、国内ではファブレス企業として「持たざる経営」を堅持してきましたが、今後、グローバル戦略を進めていく中で、海外の生産工場のためのマザー工場を国内に保有する必要性が高まったことによります。

### Q5.これも強みの創造につながるのでしょうか

そうですね。各国の生産拠点において、最高の製品を供給するためにも、開発機能を備えた工場を持つことが目標でしたから。ここで生産技術者の育成と当社独自の強みのある製品を開発し、金型や量産のノウハウを内外の生産工場に技術移転していくことを視野に入れていきます。

ファブレスという看板に換えて、「開発提案営業+強みに特化した生産工場の保有」というキャッチフレーズになるかもしれません。

# Interview

## オーハシテクニカの事業の特徴

2006年3月末に実施させていただきました1:2の株主分割により、株主数は2,933名から4,206名へと増加しました。特に新しい株主の皆様を中心に、当社の事業活動の特徴についてご説明いたします。「工場も持たずにどうして精密部品の開発製造ができるの」「独立系でも多くのメーカーと取引できるのはどうして」など、ご質問が多い点についてお答えしたいと思います。

### 1. 工場も持たずに精密部品を作るノウハウは？

当社の営業活動は、ユーザーの様々なニーズに対して、協力工場が保有するどの技術、材質、工法を組み合わせれば、期待される品質とコストが可能になるかを検討し、提案することです。そして、生産はその協力工場に委託することで、製造と販売を分業し、強みとしています。

### 2. 何が強みを生み出すことになるのですか？

- ①常に自由な発想をベースに、ユーザーニーズと協力工場の最新技術を組み合わせることが可能になること
- ②常に新しい顧客と市場を開拓できること
- ③無から有を生み出す提案営業を経験して、精鋭の社員が育成される土壌風土があること

ユーザー

400社

技術ニーズ

### 3. 何故、独立系でも多くのメーカーと取引ができるの？

当社は、創業以来、開発提案営業を続ける中で、お客様への納入実績と信頼を少しずつ積み重ねて今日に至りました。ユーザー、協力工場、当社の基本的な関係は、これからも変えることはありません。自動車部品、情報通信部品を問わず、より高精度な機能部品を提供することで、信頼にお応えしてまいりたいと思います。

### 4. 製品の品質保証はどうするの？

お客様に対する品質の最終責任は当社にあるため、当社にはおよそ30名の品質技術員が在籍し品質管理を行っています。特に技術革新が進む自動車部品などを中心に、求められる品質基準がますます高まっており、様々な先進技術に精通したオーハシテクニカのテクノ集団の存在価値が高まっていくものと考えております。

## オーハシテクニカ

システム  
テクノ集団

営業技術

調達

品質保証

商品開発

## 協力工場

技術領域別  
470社

技術シーズ

複合加工技術

圧造加工技術

鍛造加工技術

鋳造加工技術

機械加工技術

プレス加工技術

樹脂塑性技術

## 連結財務諸表の要旨

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	第54期中間期 平成17年9月30日	第55期中間期 平成18年9月30日
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>19,047</b>	<b>19,073</b>
現金・預金	8,051	6,717
受取手形及び売掛金	7,652	8,457
たな卸資産	2,921	3,398
繰延税金資産	238	272
その他	201	276
貸倒引当金	△ 16	△ 48
<b>固定資産</b>	<b>5,061</b>	<b>6,960</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>2,903</b>	<b>3,680</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>603</b>	<b>540</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>1,554</b>	<b>2,739</b>
投資有価証券	539	442
繰延税金資産	268	312
長期性預金	—	1,100
その他	755	889
貸倒引当金	△ 8	△ 5
<b>資産合計</b>	<b>24,109</b>	<b>26,033</b>

## 負債の部

<b>流動負債</b>	<b>9,712</b>	<b>10,088</b>
支払手形及び買掛金	8,190	8,659
未払法人税等	492	443
賞与引当金	150	171
役員賞与引当金	—	31
その他	879	783
<b>固定負債</b>	<b>727</b>	<b>779</b>
退職給付引当金	474	500
役員退職慰労引当金	233	258
その他	19	20
<b>負債合計</b>	<b>10,440</b>	<b>10,867</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>33</b>	<b>—</b>
<b>資本の部</b>		
<b>資本金</b>	<b>1,792</b>	<b>—</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>1,578</b>	<b>—</b>
<b>利益剰余金</b>	<b>10,162</b>	<b>—</b>
その他有価証券評価差額金	142	—
為替換算調整勘定	△ 40	—
<b>資本合計</b>	<b>13,635</b>	<b>—</b>
負債、少数株主持分及び資本合計	24,109	—
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	—	1,810
資本剰余金	—	1,595
利益剰余金	—	11,364
自己株式	—	△ 0
<b>株主資本合計</b>	<b>—</b>	<b>14,769</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	—	75
為替換算調整勘定	—	304
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>—</b>	<b>380</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>—</b>	<b>16</b>
<b>純資産合計</b>	<b>—</b>	<b>15,166</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>—</b>	<b>26,033</b>

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	第54期中間期 自平成17年4月 1日 至平成17年9月30日	第55期中間期 自平成18年4月 1日 至平成18年9月30日
<b>売上高</b>	<b>15,601</b>	<b>17,139</b>
売上原価	11,994	13,008
売上総利益	3,606	4,131
販売費及び一般管理費	2,377	2,908
<b>営業利益</b>	<b>1,228</b>	<b>1,222</b>
営業外収益	39	87
営業外費用	68	9
<b>経常利益</b>	<b>1,199</b>	<b>1,300</b>
特別利益	2	99
特別損失	0	59
<b>税金等調整前中間純利益</b>	<b>1,201</b>	<b>1,340</b>
法人税、住民税及び事業税	470	559
法人税等調整額	△ 28	23
少数株主利益	3	△ 14
<b>中間純利益</b>	<b>755</b>	<b>772</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	第54期中間期 自平成17年4月 1日 至平成17年9月30日	第55期中間期 自平成18年4月 1日 至平成18年9月30日
<b>営業活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>983</b>	<b>360</b>
<b>投資活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>△ 630</b>	<b>△ 1,631</b>
<b>財務活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>△ 164</b>	<b>△ 217</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	10	△ 25
現金及び現金同等物の増加額	198	△ 1,514
現金及び現金同等物の期首残高	7,852	8,231
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,051	6,717

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



# 単体財務諸表の要旨

## 単体貸借対照表

(単位：百万円)

	第54期中間期 平成17年9月30日	第55期中間期 平成18年9月30日
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>14,718</b>	<b>14,499</b>
現金・預金	5,949	4,903
受取手形	627	770
売掛金	6,950	7,347
たな卸資産	912	1,098
繰延税金資産	97	115
その他	187	292
貸倒引当金	△6	△27
<b>固定資産</b>	<b>6,525</b>	<b>8,061</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>708</b>	<b>739</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>491</b>	<b>448</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>5,325</b>	<b>6,872</b>
投資有価証券	2,629	2,626
長期貸付金	654	519
繰延税金資産	240	285
長期性預金	—	1,100
出資金	1,097	1,522
その他	712	825
貸倒引当金	△9	△6
<b>資産合計</b>	<b>21,243</b>	<b>22,560</b>

## 負債の部

<b>流動負債</b>	<b>8,635</b>	<b>9,149</b>
支払手形	277	292
買掛金	7,518	7,902
未払法人税等	396	361
賞与引当金	120	141
役員賞与引当金	—	31
その他	322	421
<b>固定負債</b>	<b>640</b>	<b>690</b>
退職給付引当金	387	411
役員退職慰労引当金	233	258
預り保証金	19	20
<b>負債合計</b>	<b>9,275</b>	<b>9,839</b>
<b>資本の部</b>		
<b>資本金</b>	<b>1,792</b>	<b>—</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>1,578</b>	<b>—</b>
<b>利益剰余金</b>	<b>8,455</b>	<b>—</b>
利益準備金	147	—
任意積立金	7,370	—
中間未処分利益	937	—
その他有価証券評価差額金	142	—
自己株式	△0	—
<b>資本合計</b>	<b>11,968</b>	<b>—</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>21,243</b>	<b>—</b>

## 純資産の部

<b>株主資本</b>		
資本金	—	<b>1,810</b>
資本剰余金	—	<b>1,595</b>
利益剰余金	—	<b>9,239</b>
利益準備金	—	147
その他利益剰余金	—	9,092
自己株式	—	△0
<b>株主資本合計</b>	<b>—</b>	<b>12,644</b>
評価・換算差額等合計	—	<b>75</b>
<b>純資産合計</b>	<b>—</b>	<b>12,720</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>—</b>	<b>22,560</b>

## 単体損益計算書

(単位：百万円)

	第54期中間期 自平成17年4月1日 至平成17年9月30日	第55期中間期 自平成18年4月1日 至平成18年9月30日
<b>売上高</b>	<b>12,349</b>	<b>13,063</b>
売上原価	9,899	10,409
売上総利益	2,449	2,654
販売費及び一般管理費	1,671	1,954
<b>営業利益</b>	<b>777</b>	<b>699</b>
営業外収益	237	256
営業外費用	14	8
<b>経常利益</b>	<b>1,000</b>	<b>948</b>
特別利益	—	99
特別損失	0	58
<b>税引前中間純利益</b>	<b>1,000</b>	<b>988</b>
法人税、住民税及び事業税	372	337
法人税等調整額	△30	9
<b>中間純利益</b>	<b>658</b>	<b>642</b>
<b>前期繰越利益</b>	<b>279</b>	<b>—</b>
<b>中間未処分利益</b>	<b>937</b>	<b>—</b>

注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 株式の状況 (平成18年9月30日現在)

■会社が発行する株式の総数	64,000,000株
■発行済株式総数	18,828,040株
■資本金	18億1,017万円
■株主数	4,206名
■大株主	

バンク オブ ニューヨーク ジーシーエム	2,693,100株	14.30%
株式会社みずほ銀行	881,000株	4.67%
日本生命保険相互会社	760,000株	4.03%
日本トラスティサービス 信託銀行株式会社(信託口)	749,900株	3.98%
古尾谷 健	701,720株	3.72%
久保 好江	509,780株	2.70%
久保 雅嗣	509,780株	2.70%
阿部 泰三	502,600株	2.66%
オーハシテクニカ取引先持株会	438,200株	2.32%
ビーエヌピーパリバセキュリティーズ	420,000株	2.23%

## 株主の皆様のためのIR情報

### ①中間配当の実施

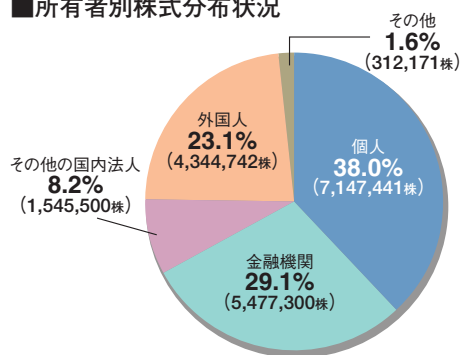
今期も、予定通り中間配当を実施いたします。今中間期の配当金は、1株当たり10円となります。

### ②中間時の株主優待の実施

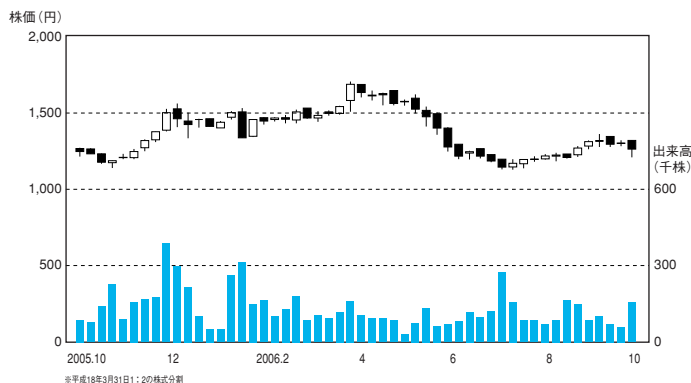
期末並びに中間期末の株主の皆様に対して、「お米ギフト券」をお送りさせていただいております。お手持ち株数に応じて、お送りする優待券の内容は、次の通りです。なお、今回より、内容を一部変更させていただいております。

(中間期及び期末それぞれ)		
100株以上	1,000株未満	お米ギフト券 1kg
1,000株以上	5,000株未満	お米ギフト券 2kg
5,000株以上	10,000株未満	お米ギフト券 3kg
10,000株以上		お米ギフト券 5kg

## ■所有者別株式分布状況



## ■株式チャート (平成17年10月～平成18年9月)



# 会社概要

(平成18年9月30日現在)

社名	株式会社オーハシテクニカ OHASHI TECHNICA, INC.
本社	〒163-0921 東京都新宿区西新宿2-3-1
創業	1946年(昭和21年)11月 1953年(昭和28年)3月 株式会社に改組
資本金	18億1017万円(平成18年9月末現在)
社員数	連結663名、単体203名
事業内容	①自動車、情報・通信を中心とした組立産業の 各種製品に使用される要素部品等の企画・設計 開発並びに販売 ②海外子会社が販売する部品の国内での調達と 輸出業務

役員	取締役社長	古尾谷 健
(平成18年9月30日現在)	常務取締役	前川 富義
	常務取締役	増田 明
	取締役	菊地 孝一
	取締役	久保田 忠
	取締役	青山 清治
	取締役	窪田 清
	取締役	堀内 郁夫
	常勤監査役	高木 重輝
	監査役	土田一富三
	監査役	三好 徹
	監査役	田口 弘
	執行役員	小林正一郎
	執行役員	田中 春次
	執行役員	古性 雅人
	執行役員	柴崎 衛



## 国内事業ネットワーク

本社	東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス21階
支店	東京都福生市熊川1987 ヤマカビル2階
南関東	神奈川県伊勢原市田中257-2 ホワイトメゾンヤマキ3階
北関東	群馬県太田市西矢島581-6
栃木	栃木県宇都宮市東宿郷5-1-16 ルーセントビル5階
川崎	神奈川県川崎市川崎区藤崎3-5-1 トークピア川崎4階
浜松	静岡県浜松市篠ヶ瀬町502-1
名古屋	愛知県高浜市小池町2-15-10
大阪	大阪府大阪市北区中津1-15-15 中津第2リッチビル5階
日立	茨城県ひたちなか市新光町38 ひたちなかテクノセンターB201
調達室	静岡県浜松市有玉台1-6-25
調達室	東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス21階
調達室	東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス21階
調達室	東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス21階
大阪	大阪府大阪市北区中津1-15-15 中津第2リッチビル5階
名古屋	愛知県高浜市小池町2-15-10
北関東	群馬県太田市西矢島581-6
諏訪	長野県諏訪市沖田町1-96-2 広瀬橋Sビル
南関東	神奈川県伊勢原市田中257-2 ホワイトメゾンヤマキ2階
日立	茨城県ひたちなか市新光町38 ひたちなかテクノセンターB201
情報通信事業部	東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス21階

## 海外事業ネットワーク

北米	OHASHI TECHNICA U.S.A. INC. TENNESSEE BRANCH INDIANA SALES OFFICE GEORGIA SALES OFFICE
タイ	OHASHI TECHNICA U.S.A. MANUFACTURING INC. OHASHI TECHNICA (THAILAND) CO.,LTD. OHASHI SATO (THAILAND) CO.,LTD. OHASHI S.I.(THAILAND) CO.,LTD.
英国	OHASHI TECHNICA UK, LTD. NORTHERN BRANCH
欧州	OHASHI TECHNICA FINLAND LTD.
中国	大橋精密電子(上海)有限公司 大橋精密件(上海)有限公司 上海支店 広州支店 大橋精密件制造(広州)有限公司

## 国内関係会社

(株) オーティーシートライポロジー研究所	東京都新宿区西新宿2-3-1
(株) オーティーシーロジスティクス	東京都国立市谷保3999-6



<http://www.ohashi.co.jp>

## 株 式 メ モ

- 事業年度** 4月1日から翌年3月31日まで
- 配当金受領** 期末配当 毎年3月31日
- 株主確定日** 中間配当 毎年9月30日
- 定時株主総会** 毎年6月中
- 基準日** 毎年3月31日および中間配当の支払を行うときは9月30日  
その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
- 公告方法** 電子公告によるものとします。
- 株主名簿管理人** 東京都港区芝3丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社
- 同事務取扱所** 東京都杉並区和泉2丁目8番4号  
証券代行事務センター(〒168-0063)  
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)
- 同取次所** 中央三井信託銀行株式会社 日本各支店  
日本証券代行株式会社 本支店



(証券コード:7628)

〒163-0921 東京都新宿区西新宿2-3-1新宿モノリス21階  
TEL.03-5321-3411(代)



この報告書は、エコマーク認定の古紙配合率  
100%の再生紙を使用し、アロマフリータイ  
プ大豆インキで印刷されています。